

第2章 オペレーター・パネルについて

状況インディケータ	42	PA1 Function (同軸のみ)	49
Power	42	Enter 機能	49
Ready	42	PA2/Return (パラレル、シリアル、同軸、または	
Processing	43	LAN)	49
Online (平衡型)	43	PA2 機能 (同軸のみ)	49
Format/Online (同軸)	43	Return 機能	50
Format/Online (パラレル、シリアル、または		Hex Print	50
LAN)	43	Park/Path	51
Attention	43	Park 機能	51
Unit Check	43	Path 機能	51
表示パネル	44	Line Feed	51
音響アラーム	44	Load/Eject	52
カスタム設定使用中インディケータ	44	前部プッシュおよび後部プッシュ	52
機能キー	45	後部ブル	53
Menu	46	プッシュ/プル	53
Quiet	47	手動給紙機構	54
Micro↑/Scroll↑ または Micro↓/Scroll↓	47	自動用紙送り	54
用紙の調整	47	Form Feed	54
カテゴリ、パラメーター、値、およびテスト		Set Top of Form	55
を通じてのスクロール	47	Start	55
Enter (平衡型)	48	Stop	56
Display Address/Return← (平衡型)	48	Cancel Print	56
Display Address 機能	48	Test	57
Return 機能	48		
PA1/Enter→ (パラレル、シリアル、同軸、または			
LAN)	49		

この章では、オペレーター・パネルの機能を説明します。オペレーター・パネルには、6つの状況インディケータ、2行 x 40文字の表示パネル、16のプリンター印刷キーと、音響アラームから構成されています。図13は、平衡型接続機構が付かないプリンター用のオペレーター・パネルとキーを示しています。42ページの図14は、平衡型接続機構が付いたプリンター用のオペレーター・パネルとキーを示しています。

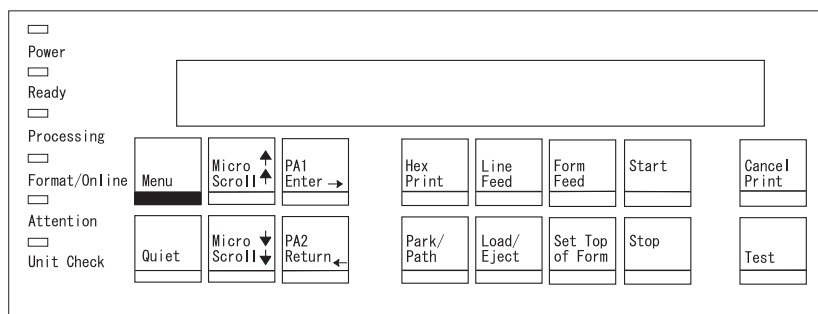


図 13. 4247 プリンターのオペレーター・パネル (平衡型接続機構が付かないすべてのプリンター用)

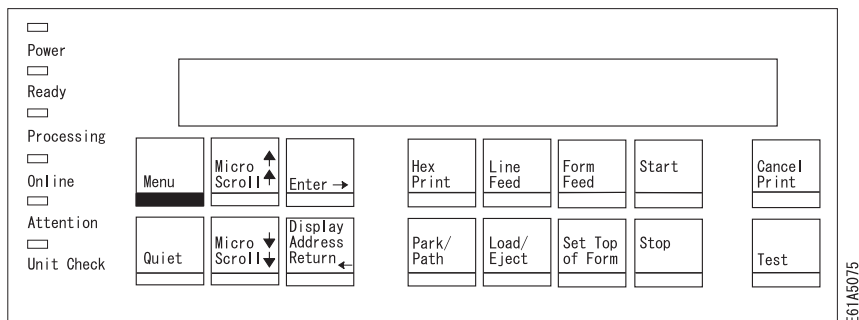


図 14. 4247 プリンターのオペレーター・パネル (平衡型接続機構が付いたプリンター)

状況インディケータ

オペレーター・パネル上には次の状況インディケータが表示されます。

- Power
- Ready
- Processing
- Online (平衡型)
- Format/Online (同軸)
- Attention
- Unit Check.

これらのインディケータをチェックしてプリンターの状況を判別できます。

Power

オンになっている場合は、プリンターに電源があります。オフになっている場合は、プリンターに電源がありません。

Ready

Ready インディケータがオンになっている場合は、プリンターの印刷が作動可能です。Ready がオンになっていない場合は、プリンターの印刷が作動不能です。このインディケータがオンになっていないときは、プリンターは、データを受け取ることにはできますが、データを印刷することはできません。

Ready インディケータがオンになっている理由は、次の条件のいずれかによります。

- 電源投入順序が正常に行われた
- **Start** を押した後、次の条件のいずれかによりインディケータ がオフになっていた場合:
 - エラー条件 (エラーが修復された場合)
 - 介入要求条件 (エラーが修復された場合)
 - **Stop** を押した後
- 「Operator Print Tests」メニューのテストを実行するために **Enter** または **Start** を押した後
- 「Operator Print Tests」を終了するために **Cancel Print** を押して、作動可能 に部分リセットするのに成功した後

Ready インディケーターがオフになっている理由は、次の条件のいずれかによります。

- **Stop** を押した後
- 介入要求条件の検出後
- プリンター・エラーの検出後
- 進行中の印刷ジョブがないときに、「Configuration Menu」に入るために **Menu** を押した後
- 前部プッシュか後部プッシュが選択されているときに、切り取り位置への排出を実行するために **Load/Eject** を押した後

Processing

オンになっている場合は、プリンターがデータを印刷中か処理中です。明滅している場合は、プリンター・バッファにただちに印刷できないデータがあります。オフになっている場合は、処理するデータがなく、印刷バッファにデータがありません。

Online (平衡型)

オンになっている場合は、プリンターがホストと通信中です。オフになっている場合は、プリンターがホストと通信状態にありません。

Format/Online (同軸)

このインディケーターは、同軸接続機構がアクティブの場合は、**Format** インディケーターとして機能し、パラレル接続機構がインターフェースである場合は、**Online** インディケーターとして機能します (**Online** インディケーターについては、上記の動作条件を参照してください)。**Format** インディケーターの場合、オンになっているときは、**Cancel Print**、**PA1**、および **PA2** がアクティブです (SCS データ・ストリームに対して)。オフになっている場合は、**PA1** と **PA2** がアクティブでなく、**Cancel Print** キーは、Test モードでだけアクティブです。

Format/Online (パラレル、シリアル、または LAN)

オンになっている場合は、プリンターがホストと通信中です。オフになっている場合は、プリンターがホストと通信状態にありません。

Attention

明滅している場合は、プリンターはオペレーターの介入を必要とします (たとえば、用紙を追加したり、用紙ジャムを除去するため)。必要な介入のタイプは、表示パネルに表示されます。オフになっている場合は、プリンターは即時アテンションを必要としません。

Unit Check

明滅している場合は、プリンター・エラーが発生し、プリンターをリセットする必要があります。オフになっている場合は、プリンターにプリンター・エラーがありません。

表示パネル

表示パネルは、2 行 x 40 文字の液晶ディスプレイ (LCD) であり、プリンターの状況メッセージ、印刷テスト・メニュー、および構成メニューのカテゴリ、パラメーター、および値を表示します。この表示パネルおよびプリンター機能キーを使用し、スクロールして「Configuration Menu」項目と「Operator Print Tests」を選択します。メッセージが次の言語のどれか 1 つで表示されるように、このディスプレイを設定できます。

- 000 English (デフォルト)
- 001 Deutsch
- 002 Français
- 003 Italiano
- 004 Español
- 005 Nederlands
- 006 Dansk
- 007 Português
- 008 Norsk
- 009 Svenska
- 010 Suomi

音響アラーム

音響アラームを使用不可にしない場合は、次の条件のいずれかが発生すると、ビーブ音が鳴ります。

- 即時介入が必要である
- プリンター・エラー条件が存在する
- プリンターがホストからアラームをオンにするようコマンドを受け取る
- 無効なキーを押そうとした
- **Set Top of Form** キーが押された

ビーブ音のアラームをオフにするには、**Stop** を押します。音響アラームを使用不可にできます。手順については、98ページの『アラーム制御』を参照してください。

注: 音響アラームが使用不可になっている場合であっても、**Set Top of Form** を押したり、いくつかの装置チェック条件で、アラームが鳴ります。

カスタム設定使用中インディケータ

このインディケータは、現在プリンターによって使用されているカスタム設定を示します。このインディケータは、オペレーター・パネルの右上隅にあります。カスタム設定とは、オペレーター・パネルで定義され、文字 ID のもとで保管された構成値の設定です。この ID によって識別されたカスタム設定がオペレーター・パネルから選択されると、これらの構成値がプリンターによって使用されます。

NOT READY	<X>
-----------	-----

使用中の現行のカスタム設定は、括弧 <X> の中に表示されます。ここで <X> は、次の文字にすることができます。

- A (カスタム設定 A を使用中)
- B (カスタム設定 B を使用中)
- C (カスタム設定 C を使用中)
- D (カスタム設定 D を使用中)
- E (カスタム設定 E を使用中)
- F (カスタム設定 F を使用中)
- G (カスタム設定 G を使用中)
- H (カスタム設定 H を使用中)

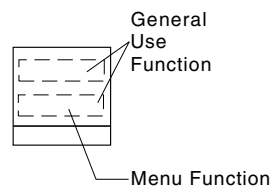
構成メニューに変更が加えられたが、カスタム設定に保管されていない場合は、その変更は一時的なものであり、括弧内には**ブランクの <>** が表示されます。カスタム設定について詳しくは、第4章 構成ストレージを参照してください。

機能キー

オペレーター・パネルには、プリンターの機能を実行するための 16 のキーが付いています。これらのキーは、プリンター機能 (たとえば、用紙の調整) を行い、スクロールして「Configuration Menu」や「Operator Print Tests」メニューの項目を選択するのに使用されます。

パネルの右側のキーには、キーのラベルに示されている 1 つの機能しかありません。Menu と Quiet にもそれぞれ 1 つの機能しかありません。左側にある次のキーには、それぞれ 2 つの機能があります。

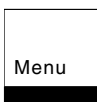
- Micro↑/Scroll↑
- Micro↓/Scroll↓
- PA1/Enter→ (同軸のみ)
- PA2/Return← (同軸のみ)
- Display Address/Return← (平衡型のみ)



オーバーレイ・ラベルの行または両方の行で薄い印刷によって識別される機能は、通常使う機能です。オーバーレイ・ラベルの下の部分にある濃い印刷は、構成機能やテスト機能を識別しています。

次に、オペレーター・パネルのプリンター機能キーのそれぞれについて説明します。

Menu



Menu 機能キーは、「Configuration Menu」に入るのに使用します。この機能キーは、プリンターが作動不能であるか、プリンターが作動可能だが、進行中のジョブがない場合に有効です。「Configuration Menu」に入った後は、用紙移動機能は使用できません。

Menu キーとレタリングは、「Configuration」または「Test Menu」で使用できるキー・ラベルと同様に黒色です。

Menu を押して、「Configuration Menu」に入ります。

プリンターは次のように表示します。

```
CONFIGURATION MENU
Configuration Storage
```

注: 印刷ジョブが進行中である (プリンターが印刷中か、**Processing** インディケータがオンになっている) 場合、プリンターは次のように表示します。

```
009 INVALID KEY PRESS
PRESS STOP FIRST
```

この場合は、**Stop** を最初に押してから、**Menu** を入力できます。ただし、印刷ジョブが進行中のときは、「Configuration Parameter Values」を変更することはお勧めできません。

構成メニューは、無許可ユーザーがパラメーター値を変更できないようにロックすることができます。構成メニューがロックされると、**Menu** キーは使用不可になるので、構成メニューに入れなくなります。「Operator Print Tests Menu」での「Printer Adjustments」も使用不可になります。

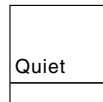
Menu がロックされると、プリンターは次のように表示します。

```
097 FUNCTION NOT AVAILABLE
MENU LOCKED
```

Menu Lock 機能について詳しくは、システム・プログラマーに尋ねるか、*IBM 4247 Printer Model 001 Programming Reference* を参照してください。

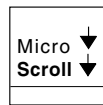
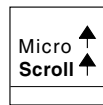
構成パラメーターと値について詳しくは、60ページの『パラメーター値の検査と変更』を参照してください。

Quiet



Quiet 機能キーは、トグル・キーです。プリンターが通常モードで稼動中に、**Quiet** を押すと、プリンターは Quiet モードに切り替わり、オペレーター・パネルに Quiet が表示されます。プリンターが Quiet モードで稼動中に、**Quiet** を押すと、プリンターは通常の印刷に戻ります。このキーを押すと、印刷ノイズ・レベルが 2 ～ 3 デシベル下がります。これにより、プリンターのスループットも半分に減ります。

Micro↑/Scroll↑ または Micro↓/Scroll↓



Micro↑/Scroll↑ または **Micro↓/Scroll↓** は、次の機能を実行するために使用します。

- プリンターが作動不能 である場合に、用紙を上か下に調整する。
- 「Configuration Menu」のカテゴリー、パラメーター、および値を通じてスクロールする。
- 「Operator Print Tests」メニュー項目を通じてスクロールする。

用紙の調整

Micro↑ または **Micro↓** を押すと、用紙は、キーを押すたびに矢印の方向に 0.176 mm (1/144 インチ) 移動します。**Micro↑** キーを押し続けると、キーを放すまで用紙は連続して移動します。

プリンターが用紙の上端にあるときに、**Micro** キーが使用されると、新しい用紙位置が用紙の上端になります。

Micro↑ および **Micro↓** キーは、他のプリンター製品にある用紙先送りノブに取って代わります。

注: Processing インディケーターが明滅中にこれらのキーを使用すると、用紙の上端位置が 間違っ て調整される場合があります。

カテゴリー、パラメーター、値、およびテストを通じてのスクロール

スクロール機能は、「Configuration Menu」または「Test Menu」が表示されているときだけ使用可能です。

「Configuration Menu」が表示されているときに **Scroll↑** を押すと、表示の 2 行目 が変更され、前の構成カテゴリー、パラメーター、または値が表示されます。

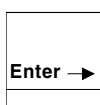
「Configuration Menu」が表示されているときに **Scroll↓** を押すと、表示の 2 行目 が変更され、次の構成カテゴリー、パラメーター、または値が表示されます。

「Test Menu」が表示されているときに **Scroll↑** を押すと、表示の 2 行目が変更され、前のテスト名が表示されます。「Test Menu」が表示されているときに **Scroll↓** を押すと、表示の 2 行目が変更され、次のテスト名が表示されます。

スクロール・キーは、数値の選択も使用可能にします。数値のリストは、一番低い値から始まります。数値を入力するときは、範囲内の次に低い値を表示するには、**Scroll↑** を使用し、次に高い値を表示するには、**Scroll↓** を使用します。値は表示パネルの 2 行目に表示されます。選択したい値が表示されたら、**Enter** を押します。

スクロール機能は、一部の「Operator Print Tests」でも使用されます。詳しくは、第 18 章 オペレーター印刷テストの使用を参照してください。

Enter (平衡型)

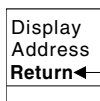


Enter 機能キーは、「Configuration Menu」または「Operator Print Tests Menu」が表示されているときに使用できます。

Enter を押すと、表示されているオプションが選択されます。

Enter 機能は、一部のテストでも使用されます。

Display Address/Return← (平衡型)



Display Address 機能

この機能は、プリンターが作動不能 であるときだけ有効です。**Display Address** は、現行のプリンター・アドレスを表示するのに使用されます。

Display Address を押したままにして、この機能をアクティブにします。プリンターは次のように表示します。

```
Printer Address = xxx
```

xxx 値は、000 ~ 006 で、現行のアドレスを示します。キーを放すと、表示は、キーが押される前に表示されていたメッセージに戻ります。

Return 機能

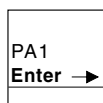
「Configuration Menu」で **Return** を押すと、プリンターがすでに表示していない限り、メニューの前のレベルに戻ります。

```
CONFIGURATION MENU  
Configuration Storage
```


「Configuration Menu」が表示されている場合は、プリンターはメニューを終了させ、**作動不能** になります。

注: 構成変更を行い、それを「Custom Set」に保管していない場合、ディスプレイは、変更を保管するようプロンプトを出します。「Operator Print Tests Menu」において、テストが実行中でない場合、**Return** を押すと、「Test Menu」を終了して、プリンターを**作動不能** にします。

PA1/Enter→ (パラレル、シリアル、同軸、または LAN)



PA1 Function (同軸のみ)

この **PA1** 機能は、**Format/Online** インディケータがオンになっており、プリンターが**作動不能** である場合だけ有効です。PA1 機能は、ホスト・プログラムによって特殊なオペレーター要求として定義されます。

PA1 を押して、コンピューターまたはコントローラーにメッセージを送ります。プリンターは次のように表示します。

A rectangular box with a thin border containing the text "061 PA1 SELECTED".

061 PA1 SELECTED

ホストがプリンター入力を受け入れると、このメッセージは消えます。

Start を押して、PA1 応答をアクティブにします。

注: 詳しくは、コンピューターのオペレーターかプログラマーにお尋ねください。

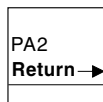
Enter 機能

Enter 機能は、「Configuration Menu」または「Operator Print Tests Menu」が表示されているときに使用できます。

Enter を押すと、表示されているオプションが選択されます。

Enter 機能は、一部のテストでも使用されます。

PA2/Return (パラレル、シリアル、同軸、または LAN)



PA2 機能 (同軸のみ)

この **PA2** 機能は、**Format/Online** インディケータがオンになっており、プリンターが**作動不能** である場合に有効です。PA2 機能は、ホスト・プログラムによって特殊なオペレーター要求として定義されます。

PA2 を押すと、コンピューターまたはコントローラーにメッセージが送られます。プリンターは次のように表示します。

```
062 PA2 SELECTED
```

ホストがプリンター入力を受け入れると、このメッセージは消えます。

Start を押して、PA2 応答をアクティブにします。

注: 詳しくは、コンピューターのオペレーターかプログラマーにお尋ねください。

Return 機能

「Configuration Menu」で **Return** を押すと、プリンターがすでに表示していない限り、前のレベルのメニューに戻ります。

```
CONFIGURATION MENU  
Configuration Storage
```

「Configuration Menu」が表示されている場合は、プリンターがメニューを終了させ、**作動不能** になります。

注: 構成変更を行い、それを「Custom Set」に保管していない場合、ディスプレイは、変更を保管するようプロンプトを出します。「Operator Print Tests Menu」において、テストが実行中でない場合、**Return** を押すと、「Test Menu」を終了して、プリンターを**作動不能** にします。

Hex Print

```
Hex  
Print
```

この機能は、プリンターが**作動不能** であるときだけ有効です。

Hex Print 機能は、すべてのデータを 16 進コードで印刷するのに使用します。

Hex Print を押して、この機能をアクティブにします。プリンターは次のように表示します。

```
026 HEX PRINT MODE ACTIVE
```

Hex Print を押した後に **Start** を押すと、すべてのデータが 16 進コードで印刷されます。

この機能は、**Stop** を押すか、プリンターの電源をオフ (O) にするまでアクティブなままです。

Park/Path

Park/
Path

Park 機能

このキーを押すと、プリンターは、**作動可能** および**作動不能** 状態のどちらかで Park 機能に入ります。連続用紙は、用紙パスで用紙を後退させ (処理方向を逆に) します。

連続用紙が現在プリンターでは前部プッシュ、後部プッシュ、またはプッシュ/プル用になっており、用紙の上端が印刷域を外れる場合は、**Park/Path** を押します。用紙は、切り取りのために排出され、プリンターは、次のように表示します。

091 FANFOLD PARK
TEAR OFF AT OUTPUT AND PRESS PARK

連続用紙が現在プリンターで後部プルになっているか、後方に移動できない特殊な用紙 (たとえば、ラベル付きの連続用紙) で、前部、後部、またはプッシュ/プルになっている場合、プリンターは次のように表示します。

092 FANFOLD PARK
TEAR OFF AT INPUT AND PRESS EJECT

カット・シート用紙が現在プリンターにある場合、プリンターは用紙を排出して、**作動不能** 状態になります。

オペレーター・パネル・ディスプレイで表示される処置を実行します。その後で、プリンターは、用紙パス選択について**作動可能**になります。

Path 機能

用紙が現行のパスになく、プリンターが**作動不能** 状態にある場合、**Park/Path** を押すと、プリンターで使用できる異なる用紙パスの選択が可能になります。必要なパスが表示される場合は、**Start** を押します。表示された用紙パスがアクティブな用紙パスになり、プリンターは**作動可能** になります。**Load/Eject** か **Form/Feed** を押して、連続用紙がアクティブな用紙パスを選択するようにします。

Park/Path によって選択された用紙パスは、「Printer Setup」カテゴリの「Paper Source」の現行値にもなります。159ページの『用紙ソース』を参照してください。

Line Feed

Line
Feed

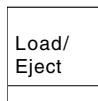
この機能は、プリンターが**作動不能** であるときだけ有効です。

Line Feed を押すと、プリンターは、現行の LPI 設定値に基づき、用紙を 1 印刷行だけ先送りさせることとなります。**Line Feed** を 4 秒間を超えて、押し続けると、キーを放すまで、用紙は連続して移動します。

他のプリンター製品での用紙先送りノブと同様に、**Line Feed** キーは、用紙の大まかな垂直移動ができます。このキーは、他のプリンター製品にあるような“Index”キーとしては、機能しません。

注: Processing インディケーターが明滅中にこのキーを使用すると、用紙の上端位置が間違っていて調整される場合があります。

Load/Eject



Load/Eject 機能は、どのアクティブな用紙パスを選択したかによって決まります。ここでは、用紙パスごとに機能を説明します。

前部プッシュおよび後部プッシュ

Load/Eject キーは、次の機能を行います。

- 用紙を自動的にセットする

用紙がセンサーの下で、用紙機構の下部にあるトラクターの上にセットされた後、**Load/Eject** を押すと、用紙が用紙の上端位置へ自動的にセットされます。

- 用紙を切り取り位置に移動する

Stop を最初に押さないでください。

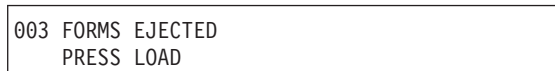
データ・ストリーム・コマンドか、**Form Feed** を押すことによって Form Feed が行われると、**Load/Eject** を押す前に、用紙はミシン目で切り離せるような位置になります。

注:

Load/Eject が用紙のミシン目を切り取りバーの位置に合わせない場合は、次のことをチェックしてください。

1. Form Feed が、**Load/Eject** を押す直前に行われたことを確認します。
2. 「Configuration Menu」の「Printer Adjustments」の個所で、ご使用のパスの Tear Position 値 (Front か Rear) が正しく設定されていることを確認してください。この値が「Paper Load Position」値の逆であることがよくあります。用紙ミシン目が切り取りバーの端にぴったり合うように Tear Position を調整します。パスには、独自の調整値セットがあります。これらの値を変更するときは、希望のパス用の値を設定していることを確認してください。

「Printer Setup」カテゴリーで「Immediate Eject for Continuous Forms Eject Mode」パラメーター (デフォルト値) を指定する場合は、**Load/Eject** を押して、プリンターをただちに作動不能 にします。プリンターは次のように表示して、



用紙を先送りします。用紙をミシン目で切り取り、プリンターから取り出せるようにします。

「Printer Setup」カテゴリで「Delayed Eject for the Continuous Forms Eject Mode」パラメーターを指定する場合は、**Load/Eject** を押すと、プリンターは次のように表示して、

093 EJECT PENDING

アラームのピープ音を鳴らします。用紙の終わりに達すると、プリンターは作動不能 になり、次のように表示して、

003 FORMS EJECTED
PRESS LOAD

用紙を先送りします。用紙をミシン目で切り離し、プリンターから取り出せるようにします。

キーを 2 回目に押すと、印刷する次の用紙を前の印刷位置の裏面に移動し、プリンターを作動可能 にします。

「Continuous Forms Eject」モードの変更方法については、169ページの『連続用紙排出モード』を参照してください。

- ビューのための用紙の排出

Load/Eject を押す前に Form Feed が行われない場合、用紙は、印刷を検査するためにビューできる位置に送られます。

後部プル

このキーは、プリンターが用紙の終わり状態にあるときは無効です。用紙の終わり条件が検出されると、最後の用紙がプリンターから自動的に排出されます。

後部プル用紙パスには、自動セットはありません。プリンターが次のように表示する場合、

001 END OF FORMS
LOAD FORMS

Stop を押して、後部トラクターで用紙を手動で位置合わせします。

Load/Eject を押します。**Micro↑** または **Micro↓** を使用して、用紙の位置を決めます。

プッシュ/プル

プッシュ/プル用紙パスは、前部と後部トラクターの両方を使用します。

- 前部トラクターのセット

用紙がセンサーの下で、用紙機構の下部にあるトラクターの上へとセットされた後、**Load/Eject** を押すと、用紙が用紙の上端位置へと自動的にセットされます。

- 後部トラクターのセット

後部トラクターで用紙を手動で位置合わせします。**Micro↑** または **Micro↓** を使用して、用紙の位置を決めます。

- **Form Feed** を押して、用紙を次の用紙の上端まで先送りします。

手動給紙機構

「Printer Setup」で「Automatic Manual Load」が Disabled に設定されている場合、用紙がプリンターに挿入するときに、プリンターは次のように表示します。

004 PRESS LOAD

Load/Eject を押して、用紙を最初の印刷位置に先送りします。

「Printer Setup」カテゴリーで「Automatic Manual Load」が Enabled に設定される場合、**Load/Eject** を押すと、プリンターから用紙が排出され、作動可能 状態のままになります。詳しくは、170ページの『自動手動セット』を参照してください。

自動用紙送り

プリンターが作動不能 であるときに **Load/Eject** を押すと、プリンターは現行の用紙を排出します。

Form Feed

Form Feed

このキーは、前部プッシュ、後部プッシュ、後部プル、およびプッシュ/プルについてアクティブです。ASF および手動給紙用紙パスには非アクティブです。このキーは用紙を先送りし、次の用紙が用紙の上端位置になるようにします。Form Feed 機能は、プリンターが作動不能 であるときに、使用できます。

- **Stop** を押して印刷を中断する場合、**Form Feed** を押してから、**Start** を押すと（ジョブを再開する準備ができているとき）、プリンターは、前の用紙で印刷が中断された個所で、次の用紙で印刷を続けます。
- 前部プッシュまたは後部プッシュのセット操作中に **Form Feed** が押されると、**Form Feed** は **Load/Eject** として機能し、自動セットを行います。
- プッシュ/プルの場合:
 - **Load/Eject** を押して、用紙を前部トラクターから後部トラクターに先送りします。
 - 後部トラクターで用紙を手動で位置合わせします。**Micro↑** または **Micro↓** を使用して、用紙の位置を決めます。
 - **Form Feed** を押して、用紙を次の用紙の上端まで先送りします。
- **Form Feed** を押す前に、プリンターが、いつでも作動不能 であるとは限りません。詳しくは、165ページの『用紙送りモード』を参照してください。

Set Top of Form

Set Top
of Form

これは、印刷が発生しており、Top-of-Forms コマンドがプリンターに渡されていない場合にだけ (Form Feed や Printer の初期設定など)、使用する必要があります。

Set Top of Form 機能を使用できるのは、プリンターが作動不能 であり、用紙が印刷行にセットされている場合だけです。このキーは、連続用紙ソースの場合だけ使用できます。

連続用紙ソースの場合だけ、**Set Top of Form** を押して、用紙の上端位置を設定します。アラーム・ビープ音が鳴り、プリンターが次のように表示します。

TOP OF FORM SET

事前印刷用紙が使用される場合は、「Top-of-Form」の代わりに「Paper Load Positioning」を使用します (175ページの『第11章 プリンター調整』を参照してください)。

注: ASF および Manual Sheet Feed の場合は、上部マージンの調整は、「Paper Load Position」を通じて行ってください。詳しくは、175ページの『第11章 プリンター調整』を参照してください。

Start

Start

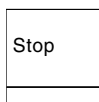
Start を押して、次の機能を行います。

- プリンターを作動可能 にし、オペレーター・パネル・ディスプレイに **Ready** メッセージが表示されるようにします。
- 「Configuration Menu」を終了して、プリンターを作動可能 にします。部分リセットが必要な場合は、プリンターが作動可能 になる前に、構成変更を有効にします。

注: 構成変更を行い、それを「Custom Set」に保管していない場合、ディスプレイは、変更を保管するようプロンプトを出します。

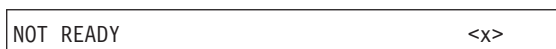
- エラー状態がディスプレイに表示されておらず、印刷するデータをプリンターが送っている場合に、プリンターの印刷を開始します。
- 「Operator Print Tests」メニューからテストを開始します。

Stop



プリンターが作動可能 状態にある場合に、**Stop** を押すと、次のことが行えます。

- プリンターを作動不能 にし、オペレーター・パネル・ディスプレイから 作動可能メッセージが消えるようにする
- 印刷データを失わないように、印刷をできるだけ早く停止する
- プリンターがテスト・モードにある場合に、テストを停止する
- プリンター・アラームがビープ音を鳴らすのを停止する
- 他のプリンター機能キーを使用できるようにする
- プリンターに次のように表示させる

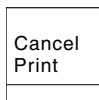


(または、プリンターが「Operator Print Tests」モードにある場合は、現行のテスト・メニューを表示させます)

オペレーター・パネル・ディスプレイにエラー条件が表示される場合は、**Stop** を押して、次のようにします。

- ディスプレイからエラー・メッセージを消去させる
- プリンター・アラームがビープ音を鳴らすのを停止する

Cancel Print



プリンターがアクティブで、オンラインになっているときにこのキーを押すと、接続機構がホストに『取り消し要求』を送り、同軸と平衡型接続機構の場合、すべての印刷データと、プリンター・バッファが消去され、プリンターが次のように表示します。



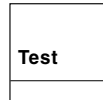
平衡型 の場合、『cancel print』機能は、オンラインの作動不能 および 作動可能状態でも有効です。

同軸 の場合、『cancel print』機能は、**Format/Online** インディケータがオンになっているときに、オンラインの作動不能 状態だけで有効です。ただし、059 メッセージが表示された後 **Start** を押すまで、取り消し要求は送られません。059 メッセージが表示された後 **Cancel Print** を再び押すと (**Start** の代わりに)、取り消し要求は送られず、059 メッセージは消去されます。

パラレル、シリアル、および LAN の場合は、**Cancel Print** がすべての印刷バッファを消去します。この機能は、プリンターが作動不能 であるときだけ有効です。

Cancel Print は、「Operator Print Tests」でもアクティブです。テスト中に **Cancel Print** が押されると、プリンターは、進行中のテストを停止し、テスト・モードを終了して、部分リセットを行い、**作動可能** になります。

Test



Test を押して、Operator Print Tests メニューに入ります。Test 機能は、プリンターが**作動不能** であるときだけ有効です。

いくつかのテストが選択可能です。**Test** を押した後、プリンターは次のように表示します。



Scroll↑ または **Scroll↓** を押して、他の選択可能なテストを表示します。

テストの選択と実行については、299ページの『第18章 オペレーター印刷テストの使用』を参照してください。

第3章 構成パラメーター値の検査と変更

構成デフォルトの印刷	60	平衡型構成	64
パラメーター値の検査と変更	60	同軸構成	65
構成メニューの終了	61	パラレルとシリアル構成	67
Start を使用した終了	61	プリンター・セットアップ	70
Return を使用した終了	62	プリンター調整	71
プリンター構成メニューのロック	62	パワーオン・リセット	72
構成カテゴリ	63	表示言語	73
構成ストレージ	63	送信バッファー再印刷コード (同軸接続機構)	73
接続機構選択	63	重要プロダクト・データ	73
後部トラクターの使用	64	メニューの終了	74

この章では、Configuration Parameter Values の検査と変更についての簡単な説明と手順を示します。パラメーター値とは、印刷データを処理するためにプリンターが認識および使用する設定値のことです。これらの値は、オペレーター・パネルを使用して設定できます。これらは、値のカテゴリにグループ分けされ (たとえば、平衡型構成、プリンター・セットアップ)、オペレーター・パネル上でこれらのカテゴリによって アクセスされます。これらのカテゴリは、「Configuration Menu」で選択可能です。

- Configuration Storage
- Attachment
- Rear Tractor Use
- Twinaxial Configuration (平衡型接続機構付き)
- Coaxial Configuration (同軸接続機構付き)
- Parallel and Serial Configuration (シリアル接続機構付き)
- Printer Setup
- Printer Adjustment
- Power On Reset
- Display Language
- Send Buffer Reprint Code (同軸接続機構付き)
- Vital Product Data
- Quit From Menu

製造元で設定された Configuration Parameter Values を使用するか、それらを変更することができます。これらの Configuration Categories のそれぞれについての Parameter Values を検査および変更する手順が、ここで説明されています。

注:

1. コンピューター・プログラムは、オペレーター・パネルから選択する Parameter Values をオーバーライドできます。コンピューター・プログラムがオーバーライドできない値は、63ページの『構成カテゴリ』に表示されています。
2. ご使用のプリンター・アプリケーションに有効でないカテゴリまたはパラメーターが表示されている場合は、それを無視してください。それらがプリンターに害を及ぼしたり、その操作に影響を与えることはありません。
3. IBM は、参照用として、カスタム設定を印刷することをお勧めします。詳しくは、第18章 オペレーター印刷テストの使用の『Printer Configuration』を参照してください。

構成デフォルトの印刷

IBM は、構成値を印刷して、その印刷出力を将来の参照用として保管しておくことをお勧めします。プリンター構成値の印刷については、304ページの『プリンター構成』を参照してください。

パラメーター値の検査と変更

構成パラメーター値の検査と変更は、**Menu** キーで入れる「構成メニュー (Configuration Menu)」で行われます。「構成メニュー」は、3つのレベルに分かれています。

- カテゴリー
- パラメーター
- 値

注: 印刷ジョブ中にパラメーター値を変更しないでください。データが失われる場合があります。

Menu を押して、構成メニューに入ります。

CONFIGURATION MENU Configuration Storage

構成メニューの最初のカテゴリーは、ディスプレイの2行目に表示されています。**Scroll↑** または **Scroll↓** を使用して、必要なカテゴリーが表示されるまで、カテゴリーを通じてスクロールします。**Enter** を押して、選択したカテゴリーの最初のパラメーターを表示します。**Scroll↑** または **Scroll↓** を使用して、検査または変更したいパラメーターが表示されるまでパラメーターを通じてスクロールします。**Enter** を表示して、選択したパラメーターの現行値 (アスタリスク [*] によって示されています) を表示します。

Scroll↑ および **Scroll↓** を使用して、必要な値が表示されるまで他の選択可能な値を通じてスクロールします。**Enter** を押して、この新しい値を選択します。

値を変更し、それらをカスタム設定に保管しない場合、プリンターは、次のどちらか1つが発生するまでその値を保持します。

- プリンターの電源をオフ (O) にする
- 値を再び変更する

値をカスタム設定に保管しない限り、変更した値は、プリンターの電源をオフ (O) にすると失われます。次回にプリンターの電源をオン (I) にするとき、前にパワーオン・カスタム設定で保管した値が、プリンターが使用する値です。

カスタム設定でのパラメーター値の保管および再呼び出しについては、第4章 構成ストレージを参照してください。

構成変更は、バッファーに入れられたデータ (プリンターがそのストレージにもつデータ) の印刷を完了するまで有効になりません。

パラメーター (またはいくつかのパラメーター) を変更してから、変更を保管したくないことに決めた場合、「Configuration Menu」から「Quit from Menu」を選択し

て、前の値の設定に戻ることができます。プリンターは次のように表示します。

```
Quit from Menu
Restore Previous Values
```

Enter を押して、前の値を選択し、「Configuration Menu」を終了し、プリンターを**作動不能** にします。前の値を復元することについて詳しくは、第16章 メニューの終了を参照してください。

構成メニューの終了

Start を押すことにより、「Configuration Menu」を素早く終了し、プリンターを**作動可能** にすることができます。**Return** キーを使用して、メニューを終了し、プリンターを**作動不能** にすることもできます。これら 2 つの方法は、構成に加えた変更を保持します。

注: 変更を取り消したい場合は、メニューから「Quit」することができます。第16章 メニューの終了を参照してください。

Start を使用した終了

構成変更を加えなかったか、変更をカスタム設定に保管した場合、**Start** を押すと、プリンターはメニューを終了し、**作動可能** になります。

構成変更を加えたが、変更をカスタム設定に保管しなかった場合、**Start** を使用して終了するには、次のステップを使用します。

1. メニューのレベルから **Start** を押します。
プリンターは次のように表示します。

```
Press ENTER to Save a Custom Set
Press START to Not Save in a Set
```

2. 変更を保管したくない (プリンターの電源をオフにすると変更は失われます) 場合、**Start** をもう一度押すと、プリンターはメニューを終了し、**作動可能** になります。
3. 変更をカスタム設定に保管するには、**Enter** を押します。
4. プリンターは、メニューの「構成ストレージ (Configuration Storage)」カテゴリの「値」レベルに入り、次のように表示します。

```
Save Current Values
Custom Set A
```

5. 希望するカスタム設定名が表示されるまで、**Scroll Up↑** または **Scroll Down↓** を押します。
6. **Enter** を押して、現行のパラメーター値を保管します (さらに詳しくは、第4章 構成ストレージを参照してください)。
7. **Start** をもう一度押します。
プリンターはメニューを終了し、**作動可能** になります。

変更できるパラメーターおよび出荷時の値については、63ページの『構成カテゴリー』を参照してください。

Return を使用した終了

構成変更を加えなかったか、変更をカスタム設定に保管した場合、**Return** を押すと、プリンターはメニューを終了し、**作動不能** になります。

構成変更を加えたが、変更をカスタム設定に保管しなかった場合、**Return** を使用して終了するには、次のステップを使用します。

1. CONFIGURATION MENU がディスプレイの最初の行にない場合は、**Return** を押しします。
2. **Return** をもう一度押しします。
プリンターは次のように表示します。

```
Press ENTER to Save a Custom Set
Press RETURN to Not Save in a Set
```

3. 変更を保管したくない (プリンターの電源をオフにすると変更は失われます) 場合、**Return** をもう一度押すと、プリンターはメニューを終了し、**作動不能** になります。
4. 変更をカスタム設定に保管するには、**Enter** を押しします。
5. プリンターは、メニューの「構成ストレージ (Configuration Storage)」カテゴリーの「値」レベルに入り、次のように表示します。

```
Save Current Values
Custom Set A
```

6. 希望するカスタム設定名が表示されるまで、**Scroll Up↑** または **Scroll Down↓** を押しします。
7. **Enter** を押して、現行のパラメーター値を保管します (さらに詳しくは、第4章構成ストレージを参照してください)。
8. **Return** を 3 回押して、メニューを取り消します。
プリンターはメニューを終了し、**作動不能** になります。

変更できるパラメーターと出荷時の値については、63ページの『構成カテゴリー』を参照してください。

プリンター構成メニューのロック

構成メニューは、無許可ユーザーがパラメーター値を変更できないようにロックすることができます。構成メニューがロックされると、保管されたカスタム設定 (A ~ H) は再呼び出しできますが、構成パラメーター値は変更できません。「オペレーター印刷テストメニュー」の「プリンター調整」も使用不可になります。

プリンター構成をロックかアンロックするには、次のようにします。

1. **Stop** を押しします。

2. **Test** を押したまま、**Quiet** を押します。プリンターは次のように表示します。

PRESS STOP-->NOT READY

3. **Hex** を押します。

構成カテゴリ

ここでは、構成カテゴリのパラメーターについてすべての選択可能な値と出荷時のデフォルトのリストを示します。

構成ストレージ

表2 では、Configuration Storage カテゴリで選択可能なパラメーターを表示します。これらのパラメーターの設定方法については、第4章 構成ストレージを参照してください。

表2. Configuration Storage カテゴリ

パラメーター	値	デフォルト
Save Current Values	Custom Set A-H	N/A
Recall Custom Set	Custom Set A-H	N/A
Power-On Custom Set	Last Used Custom Set A-H	Last Used
Power-On Paper Source	Front Rear Bin 1 Bin 2 Bin 3 Manual Last Used	Front
Recall Factory Defaults	Yes	N/A

注: Recall Factory Defaults を使用して、すべてのパラメーターを出荷時のデフォルト値に設定してください。80ページの『出荷時デフォルト再呼び出し』を参照してください。

接続機構選択

4247 は、次のどれか 1 つで接続することができます。

- 平衡型とパラレル
- 同軸とパラレル
- シリアルとパラレル
- パラレルのみ

お手持ちの接続機構は、発注した時点で要求したものによって異なります。

注:

1. LAN 接続機構が取り付けられている場合は、Attachment Selection は、自動的にパラレルに設定されます。

- シリアル接続機構カードが取り付けられている場合、Attachment Selection は、データがシリアルとパラレル・インターフェースのどちらかを通じて受け取られるときに、シリアルとパラレルの間で自動的に切り替えられます。
- 表3 は、Attachment Selection について選択可能なパラメーターを表示しています。デフォルト値は、発注した接続機構に応じて、parallel、twinax、または coax のいずれかです。これらのパラメーターの設定方法について詳しくは、第5章 接続機構選択の変更を参照してください。

表3. Attachment Selection

パラメーター	値	デフォルト
Attachment Selection	Parallel、Twinax、Coax、または Serial	Parallel、Twinax、または Coax

後部トラクターの使用

Rear Tractor Use カテゴリーは、後部トラクターが取り付けられているときだけ選択可能です。表4 では、後部トラクターが取り付けられているときに選択可能なパラメーターを表示しています。これらのパラメーターの設定方法について詳しくは、第6章 後部トラクターの使用を参照してください。

表4. Rear Tractor Use

パラメーター	値	デフォルト
Rear Tractor Use	Push Pull Push-Pull	Push

平衡型構成

表5 では、Twinaxial Configuration カテゴリーで選択可能なパラメーターを表示しています。コンピューターによってオーバーライドされるパラメーターは、ダガー (†) を付けて示してあります。これらのパラメーターの設定方法について詳しくは、第7章 平衡型構成を参照してください。

表5. Twinaxial Configuration

パラメーター	値	デフォルト
† Characters Per Inch (CPI)	10 12 15 16.7	10
† Lines Per Inch (LPI)	6 8	6
† Maximum Print Position (MPP)	1 ~ 227	132
† Maximum Page Length (MPL)	1 ~ 660 1 ~ 880	66
† Print Quality	DP Quality DP Text Quality Near Letter Quality	DP Quality

表 5. Twinaxial Configuration (続き)

パラメーター	値	デフォルト
† Print Language	サポートされている Print Languages91 ページ の表を参照してください。	500 International 5/Belgian New
Printer Address	000 ~ 006	000
Data Stream (IPDS 機能がインストールされている 場合)	IPDS SCS	IPDS
Emulation Mode	4247 4224 4230 4214	4247
Media Size Priority	Standard Alternate	Alternate
Bar Code Mode	High Low Computer Selected	High
Graphics Mode	High Low Computer Selected	High
Alarm Control	Enabled Disabled	Enabled
Override Host Paper Source (Data Stream=SCS の場合)	Disabled Enabled	Disabled

同軸構成

表6 では、Coaxial Configuration カテゴリーで選択可能なパラメーターを表示しています。コンピューターによってオーバーライドされるパラメーターは、ダガー (†) を付けて示してあります。これらのパラメーターの設定方法については、第8章 同軸構成を参照してください。

表 6. Coaxial Configuration

パラメーター	値	デフォルト
† Characters Per Inch (CPI)	10 12 15 16.7	10
† Lines Per Inch (LPI)	6 8	6
Single/Double Space	Single Double	Single
† Maximum Print Position (MPP)	1 ~ 227	132
† Maximum Page Length (MPL)	1 ~ 660 1 ~ 880	66

表 6. Coaxial Configuration (続き)

パラメーター	値	デフォルト
Emulation Mode	4247 4224 4230 3287 3268	4247
† Print Quality	DP Quality DP Text Quality Near Letter Quality	DP Quality
† Print Language	サポートされている印刷言語 107 ページの表を参照してください。	37 USA/Canada/Canadian Bilingual
† Mono/Dual Case	Dual Mono	Dual
† Print Text Direction	Right to Left Left to Right	Right to Left
Media Size Priority	Standard Alternate	Alternate
Printer Compatibility Screen Buffer Size	960 1920 2560 3440 3564	1920
Printer Compatibility 1 (Carriage Return at MPP + 1)	Standard Alternate	Standard
Printer Compatibility 2 (New Line at MPP + 1)	Standard Alternate	Standard
Printer Compatibility 3 (Form Feed Followed by Data)	Standard Alternate	Standard
Printer Compatibility 4 (Form Feed Last Character in Order)	Standard Alternate	Standard
Printer Compatibility 5 (Null Suppression)	Standard Alternate	Standard
Printer Compatibility 6 (Form Feed Command Position)	Standard Alternate	Standard
Printer Compatibility 7 (Automatic Function after end of Print Buffer)	Standard Alternate	Standard
Printer Compatibility 8 (Automatic Function after OILC Job)	Standard Alternate	Standard
Printer Compatibility 9 (Suppress Timeout of No Data Loss Intervention Required)	Standard Alternate	Standard
Printer Compatibility Early Print Complete	Disabled Enabled	Disabled

表 6. Coaxial Configuration (続き)

パラメーター	値	デフォルト
Printer Compatibility 12 (Automatic Function before Start of OILC Job)	Standard Alternate	Standard
Printer Compatibility FF Suppression	Disabled Enabled	Disabled
Printer Compatibility Programmed Symbols	Disabled Enabled	Disabled
Translate Table	Default Downloaded	Default
Bar Code Mode	High Low Computer Selected	High
Graphics Mode	High Low Computer Selected	High
Alarm Control	Enabled Disabled	Enabled
Override Host Paper Source (SCS データ・ストリームに対して アクティブ)	Disabled Enabled	Disabled
Programmed Symbols Plane Selection	3 Single + 1 Triple 6 Single	3 Single + 1 Triple
Programmed Symbols Full Page on Skip Suppress	Standard Alternate	Standard
Programmed Symbols PS Print Direction	Unidirectional Bidirectional	Unidirectional

パラレルとシリアル構成

表7 では、Parallel Configuration カテゴリで選択可能なパラメーターを表示しています。コンピューターによってオーバーライドされるパラメーターは、ダガー (†) を付けて示してあります。これらのパラメーターの設定方法について詳しくは、第9章 パラレルおよびシリアル構成を参照してください。

表 7. Parallel and Serial Configuration

パラメーター	値	デフォルト
† Characters Per Inch (CPI)	10 12 15 16.7 17.1 20	10

表 7. Parallel and Serial Configuration (続き)

パラメーター	値	デフォルト
† Lines Per Inch (LPI)	6 8	6
† Maximum Print Position (MPP)	1 ~ 272	136
† Maximum Page Length (MPL)	1 ~ 660 1 ~ 880	66
† Perforation Skipping	0 ~ 879	0
† Emulation Mode	4247 2381 Personal Printer 4202 Proprinter III XL Epson-FX	4247
† Print Language	サポートされている印刷言語 136 ページの表を参照してく ださい。	437 PC (エミュレーション・ モードが 4247、 4202 III XL、2381 に 設定されている場合) 0 USA (エミュレーション・ モードが Epson-FX に設定されている場合)
† Print Quality (エミュレーション・モードが 4247、 4202 III XL、2381 に設定されている 場合)	DP Quality DP Text Quality Near Letter Quality OCR-A OCR-B	DP Quality
† Print Quality (エミュレーションが Epson-FX に設定されている場合)	DP Quality Courier Gothic OCR-A OCR-B	DP Quality
NLQ Typeface (エミュレーション・モードが 4247、 4202 III XL、2381 に設定されている 場合)	Courier Gothic	Courier
Character Set	PC1 PC2 Italics	PC1
Printer Compatibility 3 (自動 LF または CR)	Disabled Enabled	Disabled
Printer Compatibility 4 (LF 時の自動 CR) (エミュレーション・モードが 4247、4202 III XL、または 2381 に設定されている場合)	Disabled Enabled	Disabled

表 7. Parallel and Serial Configuration (続き)

パラメーター	値	デフォルト
Printer Compatibility 5 (用紙送り抑止) (エミュレーション・モードが 4247、4202 III XL、または 2381 に設定されている場合)	Disabled Enabled	Disabled
Printer Compatibility 6 (Init)	Enabled Disabled	Enabled
Printer Compatibility 7 (Condensed Print) (エミュレーション・モードが 4247、4202 III XL、または 2381 に設定されている場合)	15 16.7 17.1	17.1
Printer Compatibility 8 (Slashed Zero)	Disabled Enabled	Disabled
Printer Compatibility 9 (20 CPI) (エミュレーション・モードが 4247、4202 III XL、または 2381 に設定されている場合)	Enabled Disabled	Enabled
Alarm Control	Enabled Disabled	Enabled
Override Host Paper Source	Enabled Disabled	Disabled
Override Host Characters Per Inch	Enabled Disabled	Disabled
Override Host Lines Per Inch	Enabled Disabled	Disabled
Override Host Maximum Page Length	Enabled Disabled	Disabled
Parallel Interface Interface Type	PC Parallel 1284 Parallel	PC Parallel
Parallel Interface Input Buffer Size	256 2K 12K 32K 64K	32K
Parallel Interface Select-In Signal (エミュレーション・モードが Epson-FX に設定されている場合)	Enabled Disabled	Enabled
Parallel Interface AutoFeed XT (エミュレーション・モードが Epson-FX に設定されている場合)	Disabled Enabled	Disabled
Serial Interface Interface Type	RS-232C RS-422A	RS-232C

表7. Parallel and Serial Configuration (続き)

パラメーター	値	デフォルト
Serial Interface Input Buffer Size	256 2K 12K 32K 64K	32K
Serial Interface Data Bits	7 8	8
Serial Interface Baud Rate	300 600 1200 2400 4800 9600 1920038400	9600
Serial Interface Parity	なし Odd Even Mark Space	なし
Serial Interface Pacing Protocol	DTR XON/XOFF	DTR
Serial Interface Connection Type	Local Remote	Local

プリンター・セットアップ

表8 では、Printer Setup カテゴリで選択可能なパラメーターを表示しています。コンピューターによってオーバーライドされるパラメーターは、ダガー (†) を付けて示してあります。これらのパラメーターの設定方法については、第10章 プリンター・セットアップを参照してください。

表8. Printer Setup

パラメーター	値	デフォルト
† Paper Source	Front Rear Bin 1 Bin 2 Bin 3 Manual	Front
ASF Default Bin (ASF が取り付けられている場合)	Bin 1 Bin 2 Bin 3	Bin 1
ASF Bin 1 Media (ASF が取り付けられている場合)	Paper Envelope	Paper

表 8. Printer Setup (続き)

パラメーター	値	デフォルト
ASF Bin Linking (ASF が取り付けられている場合)	Disabled Bin 1+2 Bin 1+2+3 Bin 2+3	Disabled
Front Forms Backup (前部トラクターが取り付けられている場合)	Enabled Disabled	Enabled
Rear Forms Backup (後部トラクターが取り付けられている場合)	Enabled Disabled	Enabled
Continuous Forms Linking (前部および後部トラクターが取り付けられている場合)	Disabled Enabled	Disabled
Form Feed Mode	Not Active in Ready State Active in Ready State	Not Active in Ready State
Automatic Eject	Disabled Enabled	Disabled
Automatic Restore	Disabled Data Timer (10 秒) Timer (20 秒) Timer (30 秒) Timer (40 秒) Timer (50 秒)	Disabled
Continuous Forms Eject Mode	Immediate Eject Delayed Eject	Immediate Eject
Manual Paper Overlay	Disabled Enabled	Disabled
Automatic Manual Load	Enabled Disabled	Enabled
Manual Feed Eject Mode	Top of Form Automatic Top of Form	Top of Form
Bar Code Print Direction	Unidirectional Bidirectional	Unidirectional
Graphics Print Direction	Unidirectional Bidirectional	Unidirectional
Perforation Safety	Disabled Enabled	Disabled
Jam Sensors	Enabled Disabled	Enabled

プリンター調整

72ページの表9 では、Printer Adjustment カテゴリで選択可能なパラメーターを表示しています。これらのパラメーターの設定方法については、第11章 プリン

ター調整を参照してください。

表9. *Printer Adjustment*

パラメーター	値	デフォルト
Front AFTA (前部トラクターが取り付けられている場合)	-5 ~ +3 Fixed 1 ~ 8	0
Front Tear Position (前部トラクターが取り付けられている場合)	-312 ~ +24	0
Front Left Margin Alignment (前部トラクターが取り付けられている場合)	0 ~ 60	10
Front Paper Load Position (前部トラクターが取り付けられている場合)	-24 ~ +288	0
Rear AFTA (後部トラクターが取り付けられている場合)	-5 ~ +3 Fixed 1 ~ 8	0
Rear Tear Position (後部トラクターが取り付けられている場合)	-312 ~ +24	0
Rear Left Margin Alignment (後部トラクターが取り付けられている場合)	0 ~ 60	10
Rear Paper Load Position (後部トラクターが取り付けられている場合)	-24 ~ +288	0
ASF Bin 1 AFTA (ASF が取り付けられている場合)	-5 ~ +3 Fixed 1 ~ 8	0
ASF Bin 1 Left Margin Alignment (ASF が取り付けられている場合)	0 ~ 60	10
ASF Bin 1 Paper Load Position (ASF が取り付けられている場合)	-24 ~ +576	0
ASF Bin 2 AFTA (ASF が取り付けられている場合)	-5 ~ +3 Fixed 1 ~ 8	0
ASF Bin 2 Left Margin Alignment (ASF が取り付けられている場合)	0 ~ 60	10
ASF Bin 2 Paper Load Position (ASF が取り付けられている場合)	-24 ~ +576	0
ASF Bin 3 AFTA (ASF が取り付けられている場合)	-5 ~ +3 Fixed 1 ~ 8	0
ASF Bin 3 Left Margin Alignment (ASF が取り付けられている場合)	0 ~ 60	10
ASF Bin 3 Paper Load Position (ASF が取り付けられている場合)	-24 ~ +576	0
Manual Feed AFTA	-5 ~ +3 Fixed 1 ~ 8	0
Manual Feed Left Margin Alignment	0 ~ 60	10
Manual Feed Paper Load Position	-24 ~ +576	0

パワーオン・リセット

73ページの表10 では、Power On Reset で選択可能なパラメーターを表示しています。これらのパラメーターの設定方法については、第12章 パワーオン・リセ

ット (POR) を参照してください。

表 10. Power On Reset

パラメーター	値	デフォルト
Power On Reset	Yes	N/A

表示言語

表11 では、Display Language カテゴリで選択可能なパラメーターを表示しています。これらのパラメーターの設定方法については、第13章 表示言語を参照してください。

表 11. 表示言語

パラメーター	値	デフォルト
Display Language	000 English 001 Deutsch 002 Français 003 Italiano 004 Español 005 Nederlands 006 Dansk 007 Português 008 Norsk 009 Svenska 010 Suomi	000 English

送信バッファ再印刷コード (同軸接続機構)

表12 では、Send Buffer Reprint Code カテゴリで選択可能なパラメーターを表示しています。これらのパラメーターの設定方法については、第14章 送信バッファ再印刷コード (同軸)を参照してください。

表 12. Send Buffer Reprint Code カテゴリ (同軸)

パラメーター	値	デフォルト
Send Buffer Reprint Code	Yes No	No

重要プロダクト・データ

表13 では、Vital Product Data カテゴリで選択可能なパラメーターを表示しています。これらのパラメーターの設定方法については、第15章 重要プロダクト・データを参照してください。

表 13. Vital Product Data カテゴリ

パラメーター	値	デフォルト
Serial Number	xxxxxxx	0000000
Device Specific Information	xxxxxxxxxxxxxxxxx	0000000000000000

メニューの終了

表14 では、「Quit From Menu」カテゴリーで選択可能なパラメーターを表示しています。これらのパラメーターの設定方法については、第16章 メニューの終了を参照してください。

表 14. *Quit From Menu* カテゴリー

パラメーター	値	デフォルト
Quit From Menu	Restore Previous Values	N/A

第4章 構成ストレージ

カスタム設定	75	パワーオン・カスタム設定	78
非カスタム設定	75	パワーオン用紙ソース	79
カスタム設定での現行値保管	76	出荷時デフォルト再呼び出し	80
カスタム設定再呼び出し値	77	カスタム設定の印刷	81

この章では、構成ストレージ値の設定のための手順を説明します。2 つのタイプの構成ストレージ (カスタムと非カスタム) を説明し、プリンターのメモリーでそれらの作成と保管する方法について説明します。

カスタム設定

作成して保存できるカスタム設定は 8 つ (A、B、C、D、E、F、G、および H) あります。カスタム設定には、次のパラメーターの値があります。

- Twinax Configuration
 - Printer Address を除く、すべて
- Coax Configuration
 - Screen Buffer Size および Programmed Symbols を除く、すべて
- Parallel Configuration
 - Printer Compatibility 6 (Init)、Interface Type、Input Buffer Size、Select-In Signal、および AutoFeed XT を除く、すべて
- Serial Configuration
 - Interface Type、Input Buffer Size、Data Bits、Baud Rate、Parity、Pacing Protocol、および Connection Type を除く、すべて
- Printer Setup
 - Paper Source を除く、すべて
- Display Language
- Printer Adjustments
 - Bidirectional Adjustment、Sensor Tune、および Quit from Menu を除く、すべて

非カスタム設定

非カスタム設定には、どのカスタム設定を使用しているかにかかわらず、同じままでいるパラメーター値があります。プリンター・メモリーのこの部分には、次のパラメーター値が保管されています。

- Configuration Storage
 - すべて
- Attachment
- Rear Tractor Use
- Twinax Configuration
 - Printer Address

- Coax Configuration
 - Screen Buffer Size
 - Programmed Symbols
- Parallel Configuration
 - Printer Compatibility 6 (Init)
 - Interface Type
 - Input Buffer Size
 - Select-In Signal
 - AutoFeed-XT
- Serial Configuration
 - Interface Type、Input Buffer Size、Data Bits、Baud Rate、Parity、Pacing Protocol、および Connection Type を除く、すべて
- Printer Setup
 - Paper Source
- Printer Adjustments
 - Bidirectional Adjustment
 - Sensor Tune
 - Quit from Menu
- Power On Reset
 - Yes
- Send Buffer Reprint (同軸)
 - Yes
- Vital Product Data
- Quit From Menu

これらの値への変更は、カスタム設定に入る値を保管すると同時に保管されます。これらの非カスタム設定パラメーター値の 1 つに加えた変更を保管する場合、どのカスタム設定を呼び出す場合であっても、新しい値が有効になります。

カスタム設定での現行値保管

Save Current Values は、構成パラメーターの現行値を 8 つのカスタム設定 (75ページの『カスタム設定』に説明されています) の 1 つに保管します。

現行値を次のものに保管できます。

- Custom Set A
- Custom Set B
- Custom Set C
- Custom Set D
- Custom Set E
- Custom Set F
- Custom Set G
- Custom Set H

すべてのカスタム設定は、最初出荷時デフォルト値に設定されています。

現行の構成値をカスタム設定に保管するには、次の手順に従います。

1. **Menu** を押します。
2. プリンターが次のように表示するまで、**Scroll↑** または **Scroll↓** を押します。

```
CONFIGURATION MENU
Configuration Storage
```

3. **Enter** を押します。
4. プリンターが次のように表示するまで、**Scroll↑** または **Scroll↓** を押します。

```
Configuration Storage
Save Current Values
```

5. **Enter** を押して、現行値を表示します。
6. 希望するカスタム設定値が表示されるまで、**Scroll↑** または **Scroll↓** を押します。

注: その文字用のカスタム設定定義を前に作成していた場合は、**Enter** を押すと、その情報は新しい情報に取って代わられます。

7. **Enter** を押します。
プリンターは、次のものに類似したメッセージを表示します。

```
Save Current Values
Custom Set A Saved
```

8. **Start** または **Return** を使用して、Menu を終了します。61ページの『構成メニューの終了』を参照してください。ディスプレイは、使用中の新しいカスタム設定を表示するように更新されます。44ページの『カスタム設定使用中インディケータ』を参照してください。

カスタム設定再呼び出し値

「Recall Custom Set」値は、前に保管された構成パラメーターを再呼び出しします。(カスタム設定は、75ページの『カスタム設定』で説明されています。)

次のものから現行値を再呼び出しできます。

- Custom Set A
- Custom Set B
- Custom Set C
- Custom Set D
- Custom Set E
- Custom Set F
- Custom Set G
- Custom Set H

注: 新しいカスタム設定が再呼び出しされるとき、部分リセットを必要とするパラメーターの少なくとも1つの値が変更された場合、構成メニューを終了するとき部分リセットが自動的に行われます。バッファに入れられたデータは失われます。

カスタム設定値を再呼び出しするには、次の手順で行います。

1. **Menu** を押します。
2. プリンターが次のように表示するまで、**Scroll↑** または **Scroll↓** を押します。

```
CONFIGURATION MENU
Configuration Storage
```

3. **Enter** を押します。
4. プリンターが次のように表示するまで、**Scroll↑** または **Scroll↓** を押します。

```
Configuration Storage
Recall Custom Set Values
```

5. **Enter** を押して、現行値を表示します。
6. 希望するカスタム設定値が表示されるまで、**Scroll↑** または **Scroll↓** を押し
ます。
7. **Enter** を押します。プリンターは、次のものに類似したメッセージを表示し
ます。

```
Recall Custom Set
Custom Set A Recalled
```

8. **Start** または **Return** を使用して、Menu を終了します。61ページの『構成メニ
ューの終了』を参照してください。

パワーオン・カスタム設定

Power-On Custom Set は、プリンターの電源がオンになっているときに使用される
カスタム設定です。Last Used 値は、プリンターの電源がオフにされた前に使用され
ていたカスタム設定が、電源オン・カスタム設定として使用されることを意味しま
す。

Power-On Custom Set は、次のいずれかに変更できます。

- Last Used (デフォルト)
- Custom Set A
- Custom Set B
- Custom Set C
- Custom Set D
- Custom Set E
- Custom Set F
- Custom Set G
- Custom Set H

パワーオン・カスタム設定を変更または検査するには、次の手順で行います。

1. **Menu** を押します。
2. プリンターが次のように表示するまで、**Scroll↑** または **Scroll↓** を押します。

```
CONFIGURATION MENU
Configuration Storage
```

3. **Enter** を押します。
4. プリンターが次のように表示するまで、**Scroll↑** または **Scroll↓** を押します。

```
Configuration Storage
Power-On Custom Set
```

5. **Enter** を押して、現行値を表示します。
6. 新しいパワーオン・カスタム設定用の希望のカスタム設定が表示されるまで、**Scroll↑** または **Scroll↓** を押します。
7. **Enter** を押します。
選択したカスタム設定の前にアスタリスク (*) が表示されます。
8. **Start** または **Return** を使用して、Menu を終了します。61ページの『構成メニューの終了』を参照してください。

パワーオン用紙ソース

パワーオン用紙ソースにより、プリンターがオンにされたときにどの用紙ソースが使用されるか選択することができます。Last Used 値は、プリンターの電源がオフにされた前に使用されていた用紙ソースが、パワーオン用紙ソースとして使用されることを意味します。

パワーオン用紙ソースは、次のいずれかに変更できます。

- Front (デフォルト)
- Rear
- Bin 1
- Bin 2
- Bin 3
- Manual
- Last Used

Last Used を選択すると、データ・ストリームが用紙ソースを選択するときはいつでも、「用紙ソース」パラメーター（「プリンター・セットアップ」メニュー）が更新されます。データ・ストリームが、パワーオン用紙ソースについてオペレーター・パネル設定値の選択しようとする場合、最後に選択された用紙ソースが代わりに使用されます。

パワーオン用紙ソースを変更または検査するには、次の手順で行います。

1. **Menu** を押します。
2. プリンターが次のように表示するまで、**Scroll↑** または **Scroll↓** を押します。

```
CONFIGURATION MENU
Configuration Storage
```

3. **Enter** を押します。

4. プリンターが次のように表示するまで、**Scroll↑** または **Scroll↓** を押します。

```
Configuration Storage
Power-On Paper Source
```

5. **Enter** を押して、現行値を表示します。
6. 希望するパワーオン用紙ソース値が表示されるまで、**Scroll↑** または **Scroll↓** を押します。
7. **Enter** を押します。
選択した用紙ソースの前にアスタリスク (*) が表示されます。
8. **Start** または **Return** を使用して、Menu を終了します。61ページの『構成メニューの終了』を参照してください。

出荷時デフォルト再呼び出し

この機能は、重要プロダクト・データおよびプリンター・アドレス (平衡型接続機構) を除く、すべてのパラメーター値を元の出荷時デフォルト値に設定します。これらの設定値は、そのメニュー選択を通じてだけ変更できます。

プリンターは、すべてのカスタム設定が出荷時デフォルト値に設定され、カスタム設定 A がパワーオン・カスタム設定として設定された状態で出荷されます。出荷時デフォルト再呼び出し機能は、カスタム設定で保管された値には影響を与えません。

注: 出荷時デフォルトが再呼び出しされる時、部分リセットを必要とするパラメーターの少なくとも 1 つの値が変更された場合、構成メニューを終了するときに部分リセットが自動的に行われます。バッファーに入れられたデータは失われます。

出荷時デフォルトを再呼び出しするには、次の手順で行います。

1. **Menu** を押します。
2. プリンターが次のように表示するまで、**Scroll↑** または **Scroll↓** を押します。

```
CONFIGURATION MENU
Configuration Storage
```

3. **Enter** を押します。
4. プリンターが次のように表示するまで、**Scroll↑** または **Scroll↓** を押します。

```
Configuration Storage
Recall Factory Defaults
```

5. **Enter** を押します。
プリンターは次のように表示します。

```
Recall Factory Defaults
Yes
```

6. **Enter** を押します。

プリンターは次のように表示します。

```
Recall Factory Defaults
Factory Defaults Recalled
```

7. **Start** または **Return** を使用して、Menu を終了します。61ページの『構成メニューの終了』を参照してください。

カスタム設定の印刷

この機能は、8つのカスタム設定値の印刷出力を作成するのに使用します。

印刷出力の最初のページで、カスタム設定は、「In Use」または「Factory Defaults」のどれかとして識別されます。

In Use

カスタム設定で少なくとも1つの値が、出荷時デフォルト値と異なっています。出荷時デフォルトと異なるパラメーター値の後に、フラグ(****)が印刷されます。

Factory Defaults

出荷時デフォルトの1つと同一のカスタム設定。

カスタム設定が出荷時デフォルトと同一である場合は、「Factory Defaults」として識別されます。出荷時デフォルトからの変更が非カスタム設定パラメーター値(Twinax Address など、どのカスタム設定を使用している場合であっても、同じままでいる値)だけである場合、最初のカスタム設定だけが「In Use」として識別されます。その他のカスタム設定は、出荷時デフォルトとして表示されます。

カスタム設定を印刷するには、次のようにします。

1. **Stop** を押して、プリンターを作動不能にします。
2. **Test** を押します。
3. プリンターが次のように表示するまで、**Scroll↑** または **Scroll↓** を押します。

```
4247 OPERATOR PRINT TESTS
Print Custom Sets
```

4. **Enter** または **Start** を使用して、テストを開始します。印刷出力は、すべてのカスタム設定を表示します。

Ready インディケータがオンになり、Print Test が印刷されます。Ready インディケータがもはやオンになっていないときは、印刷出力が完了しています。

5. **Cancel Print** を押してプリンターを作動可能にするか、**Return** を押してプリンターを作動不能にします。

第5章 接続機構選択の変更

この章では、プリンター接続機構を設定するための手順を説明します。このプリンターは、平衡型、同軸、パラレル、LAN、またはシリアル接続を通じて個別に、またはパラレルを平衡型、同軸、またはシリアル接続と組み合わせて接続することができます。お持ちの接続機構は、プリンターを発注した時点で何を要求したかによって異なります。接続機構選択を変更または検査するには、次の手順で行います。

1. **Menu** を押します。
2. プリンターが次のように表示するまで、**Scroll↑** または **Scroll↓** を押します。

```
CONFIGURATION MENU
Attachment
```

3. **Enter** を押します。
プリンターは次のように表示します。

```
Attachment
* xxxxxx
```

ここで、xxxxxx (現在選択されている接続機構に応じて異なります) は、パラレル、平衡型、同軸、またはシリアルにすることができます。

4. 希望する値が表示されるまで、**Scroll↑** または **Scroll↓** を押します。
5. **Enter** を押します。
選択した値の前にアスタリスク (*) が表示されます。
6. **Start** または **Return** を押して、Menu を終了します。61ページの『構成メニューの終了』を参照してください。

第6章 後部トラクターの使用

この章では、Configuration Menu の「後部トラクターの使用」カテゴリについて説明します。これは、後部トラクター装置が取り付けられており、ASF が取り付けられていない場合のみ、オペレーター・パネル・ディスプレイに表示されます。ASF 装置が取り付けられている場合、選択可能な値は Push (プッシュ) だけです。Pull (プル) または Push-Pull (プッシュ/プル) を使用する必要がある場合、まず、ASF 装置をプリンターから取り外す必要があります。

Rear Tractor Use 用の値は、次のとおりです。

Push (デフォルト)

後部トラクターが、後部プッシュ用紙パスに使用されます。この値は、常に表示されています。

Pull 後部トラクターが、後部プル用紙パスに使用されます。この値は、前部トラクターが取り付けられていない場合だけ表示されます。

Push-Pull

後部トラクターが、プッシュ/プル用紙パスに使用されます。この値が表示されるためには、後部と前部の両方のトラクターを取り付ける必要があります。

「後部トラクターの使用」値を設定するには、次の手順で行います。

1. **Menu** を押します。
2. プリンターが次のように表示するまで、**Scroll↑** または **Scroll↓** を押します。

CONFIGURATION MENU Rear Tractor Use
--

3. **Enter** を押して、現行値を表示します。
4. 希望する値が表示されるまで、**Scroll↑** または **Scroll↓** を押します。
5. **Enter** を押します。
選択した値の前にアスタリスク (*) が表示されます。
6. **Start** または **Return** を押して、Menu を終了します。61ページの『構成メニューの終了』を参照してください。

